

自己評価票

(個別表)

自己評価項目	外部評価項目	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印(取り組んでいきたい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
I 理念に基づく運営					
I-1. 理念と共有					
1	1	<input checked="" type="checkbox"/> ①地域密着型サービスとしての理念 地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている	理念をもとにサービスが提供できるように取り組んでいる		各自が意味を理解し日頃の介護に活かせる様 日々の暮らしの中で具体的に話し合っている。
2	2	<input checked="" type="checkbox"/> ②理念の共有と日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる	日常生活の支援で多忙な毎日だから理念に合うか管理者は常に検証している。	○	サービス内容の中に思いやりの心が加味されているか検証している。
3		<input type="checkbox"/> ③家族や地域への理念の浸透 事業所は、利用者が地域の中で暮らし続けることを大切にしたい理念を、家族や地域の人々に理解してもらえるよう取り組んでいる	運営委員会・地域参加等に行事でアピールしている。		説明・広報活動等をしてきた。
理念と共有 3項目中 2項目					
I-2. 地域との支え合い					
4		<input type="checkbox"/> ①隣近所とのつきあい 管理者や職員は、隣近所の人と気軽に声をかけ合ったり、気軽に立ち寄りてもらえるような日常的なつきあいができるように努めている	町内会の案内等で近所とは支障なく溶け込んでいる。		挨拶を必ずするようにしている。気軽かそうでないかは解からないが快く挨拶を返していただいている
5	3	<input checked="" type="checkbox"/> ②地域とのつきあい 事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている	時間が許す限り、参加するようにしている。	○	実際に人員を確保し、参加できる環境を作ってきた。
6		<input type="checkbox"/> ③事業所の力を活かした地域貢献 利用者への支援を基盤に、事業所や職員の状況や力に応じて、地域の高齢者等の暮らしに役立つことがないか話し合い、取り組んでいる	役に立ちたいと考えている。		小規模後機能施設の開設を考えており、地道に広報活動を実施している
地域とのつきあい 3項目中 1項目					

グループホーム介の羽

自己評価項目	外部評価項目	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印(取り組んでいきたい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
I-3. 理念を実践するための制度の理解と活用					
7	4	<input type="checkbox"/> ①評価の意義の理解と活用 運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる	評価内容を開示している。		自己評価内容の把握 勉強会を開く。
8	5	<input checked="" type="checkbox"/> ②運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	実施している	○	月に一回/ケスカンファレンスを開催しモニタリングをしている。
9	6	<input type="checkbox"/> ③市町村との連携 事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる	している。		施設を開設するに当たり、市町村との連絡を蜜に行っている。
10		<input type="checkbox"/> ④権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、地域権利擁護事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、必要な人にはそれらを活用できるよう支援している	権利擁護・成年後見制度に付いて伝達研修を実施。		伝達研修を実施し、広報の配布時は全員に問いかけている。
11		<input type="checkbox"/> ⑤虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内で虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	高齢者虐待防止法に付いては広報を通じて学ぶ機会がある。		職員間で虐待とはなにを指すのか話合っている。
理念を実践するための制度の理解と活用 5項目中 1項目					
I-4. 理念を実践するための体制					
12		<input checked="" type="checkbox"/> ①契約に関する説明と納得 契約を結んだり解約をする際は、利用者や家族等の不安、疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	重要事項等で説明している。	○	疑問な点は電話で解決出来る雰囲気を作っている
13		<input type="checkbox"/> ②運営に関する利用者意見の反映 利用者が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	意見や不満・苦情は速やかに解決出来るようにしている。		外部者まで、表せるがどうか解からない。
14	7	<input checked="" type="checkbox"/> ③家族等への報告 事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々にあわせた報告をしている	健康・金銭に付いては連絡している。		職員の移動は定期的には知らせていない。5名の小規模施設の為 移動は稀

グループホーム介の羽

自己評価項目	外部評価項目	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印(取り組んでいきたい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
15	8	<input type="checkbox"/> ④運営に関する家族等意見の反映 家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	意見・不満・苦情等の対処は実施している。	○	小規模施設の為、責任のし所在は明確にする必要がある。
16		<input type="checkbox"/> ⑤運営に関する職員意見の反映 運営者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	意見は充分に取り入れている。		少人数の為、連絡を密にし、個人差のあるスタッフが充分に技能を発揮し、事故なく、サービスが向上するよう調整している。
17		<input type="checkbox"/> ⑥柔軟な対応に向けた勤務調整 利用者や家族の状況の変化、要望に柔軟な対応ができるよう、必要な時間帯に職員を確保するための話し合いや勤務の調整に努めている	基準の人員基準では困難 基準以上の人員確保に努めている。		パート勤務者(現在産休中)を雇用している
18	9	<input type="checkbox"/> ⑦職員の異動等による影響への配慮 運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている	長年勤め上げたスタッフが多い。		比較的、高年齢者を雇用している。離職率が低い。
理念を实践するための体制 7項目中 2項目					
I-5. 人材の育成と支援					
19	10	<input checked="" type="checkbox"/> ①職員を育てる取り組み 運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	人員の関係で困難である。	○	スキルアップ研修の紹介、参加を勧めている。
20	11	<input checked="" type="checkbox"/> ②同業者との交流を通じた向上 運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	地域連絡会に出席している。	○	情報が取れるような機会があれば進んで参加している
21		<input checked="" type="checkbox"/> ③職員のストレス軽減に向けた取り組み 運営者は、管理者や職員のストレスを軽減するための工夫や環境づくりに取り組んでいる	職員の気持ちを引き出す為の時間は作っている。	○	管理者は常に聞き上手になる心がけている
22		<input checked="" type="checkbox"/> ④向上心を持って働き続けるための取り組み 運営者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、各自が向上心を持って働けるように努めている	会話を持つ機会を多く作り出している。	○	管理者と直接話し合う事が出来る状況。勤務実態は把握している
人材の育成と支援 4項目中 4項目					

自己評価項目	外部評価項目	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印(取り組んでいきたい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
II 安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
II-1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応					
23		<input checked="" type="checkbox"/> ①初期に築く本人との信頼関係 相談から利用に至るまでに本人が困っていること、不安なこと、求めていること等を本人自身からよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている	聞くことに徹するように心掛けている	○	話せる雰囲気を作り出す努力をしている。
24		<input checked="" type="checkbox"/> ②初期に築く家族との信頼関係 相談から利用に至るまでに家族等が困っていること、不安なこと、求めていること等をよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている	している。	○	こちらから・何かお困りごとはありませんか？声掛けを行っている。
25		<input checked="" type="checkbox"/> ③初期対応の見極めと支援 相談を受けた時に、本人と家族が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	見極めをしている。	○	相談できる人為的環境(性急に自分勝手な、結論や解決策を示さない)作りをしている。
26	12	<input checked="" type="checkbox"/> ④馴染みながらのサービス利用 本人が安心し、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気に徐々に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している	している。	○	性急に事を運ばないようにしている
相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応 4項目中 4項目					
II-2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援					
27	13	<input checked="" type="checkbox"/> ①本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながらか喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている	学ぶことが多くある。	○	針仕事 整理整頓 考えかた。
28		<input checked="" type="checkbox"/> ②本人を共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場におかず、喜怒哀楽を共にし、一緒に本人を支えていく関係を築いている	面会を大いに推奨している。	○	仕事場・生活の場との線引きをしなくて人間の関わりを重視している。
29		<input type="checkbox"/> ③本人と家族のよりよい関係に向けた支援 これまでの本人と家族との関係の理解に努め、より良い関係が築いていけるように支援している	時間と距離が重要と考えている。		改善できる家族から、修復機会を提供してきた。

グループホーム介の羽

自己評価項目	外部評価項目	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印(取り組んでいきたい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
30		<input type="checkbox"/> ④馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れな いよう、支援に努めている	開設当初の利用者が多く、適応外と考 える。		馴染みの雰囲気・環境はあるが人 に関しては困難と考える。
31		<input checked="" type="checkbox"/> ⑤利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関 わり合い、支え合えるように努めている	介護度が違い、介護の量が違うので孤立 はしていない。	○	要介護 1235とバランスが取れており 利用者の持ち味を十分に引き出す事 ができる。
32		<input checked="" type="checkbox"/> ⑥関係を断ち切らない取り組み サービス利用(契約)が終了しても、継続的な関わりを必要とする利用者 や家族には、関係を断ち切らないつきあいを大切にしている	緊急入院時、退所時 居宅訪問・面会に 勤めている。	○	入所・退所者が非常に少ない状態
新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援 6項目中 4項目					

自己評価項目	外部評価項目	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印(取り組んでいきたい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
Ⅲ その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
Ⅲ-1. 一人ひとりの把握					
33	14	<input checked="" type="checkbox"/> ①思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	定期的ケアカンファレンスで情報を共有している。	○	カンファレンスの必要事項を介護日誌に落とし具体的なモニタリングを実施している。
34		<input checked="" type="checkbox"/> ②これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	より多くの情報をアセスメントに組み込んでいる。	○	生活歴・職業歴に関して、サービスの質に関連するのでより多くの情報を集めるよう本人家族より聞く事に心掛けている。
35		<input type="checkbox"/> ③暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状を総合的に把握するように努めている	個性は重視している。		個々の心身状況・力量・過ごし方は充分把握しているつもりだ 施設(生活)の暮らしの中の個性的を大切に考えています。
一人ひとりの把握 3項目中 2項目					
Ⅲ-2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し					
36	15	<input checked="" type="checkbox"/> ①チームでつくる利用者本位の介護計画 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している	アイデアを反映して計画にはなっていない。	○	大まかであり、その人に合ったアイデアとは考えにくい。
37	16	<input checked="" type="checkbox"/> ②現状に即した介護計画の見直し 介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している	必要な介護計画は検討中	○	介護実践は行われているが計画には反映されていない。介護→計画となり、実践が先行している。
38		<input checked="" type="checkbox"/> ③個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	記録が慢性化しているので記録の考え方を検討している。	○	排泄、食事等 基本的動作に関する記録で終わっている。
介護計画の作成と見直し 3項目中 3項目					
Ⅲ-3. 多機能性を活かした柔軟な支援					
39	17	<input type="checkbox"/> ①事業所の多機能性を活かした支援 本人や家族の状況、その時々々の要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている	入所機能が中心と思われる。		家族は入所後安心している様子。
多機能性を活かした柔軟な支援 1項目中 0項目					

グループホーム介の羽

自己評価項目	外部評価項目	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印(取り組んでいきたい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
		Ⅲ-4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働			
40		<input type="checkbox"/> ①地域資源との協働 本人の意向や必要性に応じて、民生委員やボランティア、警察、消防、文化・教育機関等と協力しながら支援している	充分とはいえない。		運営委員会の開催が少ない。
41		<input type="checkbox"/> ②他のサービスの活用支援 本人の意向や必要性に応じて、地域の他のケアマネジャーやサービス事業者と話し合い、他のサービスを利用するための支援をしている	充分とはいえない。		殆どない。
42		<input type="checkbox"/> ③地域包括支援センターとの協働 本人の意向や必要性に応じて、権利擁護や総合的かつ長期的なケアマネジメント等について、地域包括支援センターと協働している	権利擁護に付いては充分配慮している		利用者の保護者を話し合い。施設として入所者の非利益は事項は承諾しない様にしている。
43	18	<input checked="" type="checkbox"/> ④かかりつけ医の受診支援 本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	医師との連携をする方向ですすんでいる	○	居宅療養管理料(大道医院)5名中、3名は家族から依頼往診中 2名も依頼済み
44		<input type="checkbox"/> ⑤認知症の専門医等の受診支援 専門医等認知症に詳しい医師と関係を築きながら、職員が相談したり、利用者が認知症に関する診断や治療を受けられるよう支援している	循環器内科医の往診のみ		ホームドクターの所見上必要適宜物忘れ外来の瀬田川病院の宮川先生を検討する。
45		<input checked="" type="checkbox"/> ⑥看護職との協働 利用者をよく知る看護職員あるいは地域の看護職と気軽に相談しながら、日常の健康管理や医療活用の支援をしている	ケアマネが看護師でなり、常に健康管理を配慮しているプランとなっている。	○	検査・状態観察(Vsチェック)し医療が必要な時には医師に相談する。
46		<input checked="" type="checkbox"/> ⑦早期退院に向けた医療機関との協働 利用者が入院した時に安心して過ごせるよう、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて連携している	ホームドクターが地域機関病院と連携している。	○	ケアマネー→大道医院→草津総合病院との連携は図っている
47	19	<input type="checkbox"/> ⑧重度化や終末期に向けた方針の共有 重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している	頻回に下顎関節脱臼で緊急搬送により整備が必要な事例がある。当然脱水の危険性も高く、重症化となるハイリスク状態		滋賀医科大学付属病院口腔外科に搬送する。

グループホーム介の羽

自己 評価 項目	外部 評価 項目	項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印(取り 組んでい きたい項 目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
48		<input type="checkbox"/> ⑨重度化や終末期に向けたチームでの支援 重度や終末期の利用者が日々をより良く暮らせるために、事業所の「できること・できないこと」を見極め、かかりつけ医とともにチームとしての支援に取り組んでいる。あるいは、今後の変化に備えて検討や準備を行っている	終末期 見取りについては事例がないがケアマネが重症病棟経験者であり充分検討できる情報があり、施設内研修は可能		必要時、施設内研修を実施する予定。
49		<input type="checkbox"/> ⑩住み替え時の協働によるダメージの防止 本人が自宅やグループホームから別の居所へ移り住む際、家族及び本人に関わるケア関係者間で十分な話し合いや情報交換を行い、住み替えによるダメージを防ぐことに努めている	事例がないが必要適宜実施する。		退所事例が少ない 今後の課題として検討する。
地域資源との協働 10項目中 3項目					

自己評価項目	外部評価項目	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印(取り組んでいきたい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
IV その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
IV-1. その人らしい暮らしの支援					
IV-1. (1) 一人ひとりの尊重					
50	20	<input type="checkbox"/> ①プライバシーの確保の徹底 一人ひとりの誇りやプライバシーに配慮した言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしている	記録の開示は施設長による許可を必要とする		苦情は一度もないが今後検討の余地がある。
51		<input type="checkbox"/> ②利用者の希望の表出や自己決定の支援 本人が思いや希望を表せるように働きかけたり、わかる力に合わせた説明を行い、自分で決めたり納得しながら暮らせるように支援をしている	充分利用者の意向を重視した介護を行っている。		マンパワーの関係で充分とは言えない。
52	21	<input checked="" type="checkbox"/> ③日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	5名の小規模施設の為、介護者個人の特性が大きく決り事はすくないが、介護職員の都合を優先しているか否かは判断しにくい。	○	5対1の勤務体制が多く、個人による介護倫理が多く左右すると考える。
その人らしい暮らしの支援 (1)一人ひとりの尊重 3項目中 1項目					
IV-1. (2) その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援					
53		<input checked="" type="checkbox"/> ①身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援し、理容・美容は本人の望む店に行けるように努めている	月一回は出張美容院を利用している。	○	本人の理容・美容室へ行くのは家族の付き添いが必要
54	22	<input checked="" type="checkbox"/> ②食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	要介護度 1 2 施設での役割で意欲的に食事の準備や後始末を行っている。	○	実際、利用者が出来ることとして行っている。必要時、助言や支援をしている。
55		<input checked="" type="checkbox"/> ③本人の嗜好の支援 本人が望むお酒、飲み物、おやつ、たばこ等、好みのものを一人ひとりの状況に合わせて日常的に楽しめるよう支援している	女子入所者で タバコ・飲酒する人はいないが、おやつは利用者の好きな物を提供している	○	10時 3時のおやつメニューを考える事は大変で利用者に好きな物を聞く事が多い
56		<input checked="" type="checkbox"/> ④気持ちよい排泄の支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして気持ちよく排泄できるよう支援している	朝一番 便器に座ってもらい腹圧を掛け排便習慣を付ける事を理解できる入所者2名に対し行っている。	○	排泄のパターンを把握できる様 排便管理表を活用している。
57	23	<input type="checkbox"/> ⑤入浴を楽しむことができる支援 曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している	入浴は施設の提供時間がある。		小規模では不可能

グループホーム介の羽

自己評価項目	外部評価項目	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印(取り組んでいきたい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
58		<input checked="" type="checkbox"/> ⑥安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、安心して気持ちよく休息したり眠れるよう支援している	居室で過ごすことは本人の意向を尊重している	○	意向を重視している。
その人らしい暮らしの支援 (2)基本的な生活の支援 6項目中 5項目					
IV-1. (3) その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援					
59	24	<input checked="" type="checkbox"/> ①役割、楽しみごと、気晴らしの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている	生活歴や生活歴を重視し、役割、楽しみを取り入れる。	○	会話で受身 聞き入れを重視している。
60		<input type="checkbox"/> ②お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	金銭をもっていない。		張り合いや意欲等 今後、本人による金銭管理を検討していきたい。
61	25	<input checked="" type="checkbox"/> ③日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさず、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している	朝の散歩を3回/週程度 実施している	○	散歩は今後も続けていく。
62		<input type="checkbox"/> ④普段行けない場所への外出支援 一人ひとりが行ってみたい普段は行けないところに、個別あるいは他の利用者や家族とともに出かけられる機会をつくり、支援している	家族との食事・買い物・旅行等は推奨している。		外出時。外出衣の着替え 整容の援助を行っている。
63		<input checked="" type="checkbox"/> ⑤電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援している	手紙の手渡し・代読・投函の援助・電話の取次ぎ等の援助を実施している。	○	家族の連絡制限はない。※睡眠中、入浴・排泄等の時間は電話があったと必ず伝える様にしている。
64		<input checked="" type="checkbox"/> ⑥家族や馴染みの人の訪問支援 家族、知人、友人等、本人の馴染みの人たちが、いつでも気軽に訪問でき、居心地よく過ごせるよう工夫している	面会は大切にしている。	○	お客様用スリッパをお勧めし、くつろげる利用者の居室に案内し、歓迎の言葉と租茶をお出ししています。
その人らしい暮らしの支援 (3)社会的な生活の支援 6項目中 4項目					
IV-1. (4) 安心と安全を支える支援					
65		<input checked="" type="checkbox"/> ①身体拘束をしないケアの実践 運営者及び全ての職員が「介護保険法指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、身体拘束をしないケアに取り組んでいる	身体拘束マニュアルの読み合わせ、話し合い等で行為の理解は出来ている。	○	身体抑制の事例はなく、心のケアを重視しています。

グループホーム介の羽

自己評価項目	外部評価項目	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印(取り組んでいきたい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
66	26	<input checked="" type="checkbox"/> ②鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる	日中はセンサーを活用し、原則的には施錠禁止としています。	○	玄関の隣が入浴・トイレ室 プライバシー保護の為 施錠する事もある。
67		<input checked="" type="checkbox"/> ③利用者の安全確認 職員は本人のプライバシーに配慮しながら、昼夜通して利用者の所在や様子を把握し、安全に配慮している	要介護5以外の入所者はリビングで過ごす時間が多い。	○	安全には十分な配慮を行っている。
68		<input type="checkbox"/> ④注意の必要な物品の保管・管理 注意の必要な物品を一律になくすのではなく、一人ひとりの状態に応じて、危険を防ぐ取り組みをしている	個別の安全対策を実施している。		入所者5名の日常生活動作機能が違うため一律対応では安全確保は出来ない。
69		<input type="checkbox"/> ⑤事故防止のための取り組み 転倒、窒息、誤薬、行方不明、火災等を防ぐための知識を学び、一人ひとりの状態に応じた事故防止に取り組んでいる	転倒・誤嚥の危険性は個人差があり、個別的にアセスメントし、リスク回避している。		玄関から出かけ行方不明となった事例があり、対応策としてセンサーを取り付けた。
70		<input checked="" type="checkbox"/> ⑥急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備え、全ての職員が応急手当や初期対応の訓練を定期的に行っている	ケアマネ(看護師)緊急蘇生研修を受けており、職員に伝達研修を定期的に行っている	○	事故発生時の擬似訓練は1回/3ヶ月は行っている。
71	27	<input checked="" type="checkbox"/> ⑦災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている	入所者5名の災害・地震時の避難救護は隣人の援助は不可欠と考えている。	○	常に隣人に入所者が散歩する時、積極的に挨拶をしている。
72		<input type="checkbox"/> ⑧リスク対応に関する家族等との話し合い 一人ひとりに起こり得るリスクについて家族等に説明し、抑圧感のない暮らしを大切にされた対応策を話し合っている	ハイリスク状態時な何らかの回避策は必要と伝えている。		リスクを予測した介護は行動制限を伴う点は家族に説明し、納得 身体抑制は一例もない。
その人らしい暮らしの支援 (4)安心と安全を支える支援 8項目中 5項目					
IV-1. (5) その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援					
73		<input checked="" type="checkbox"/> ①体調変化の早期発見と対応 一人ひとりの体調の変化や異変の発見に努め、気付いた際には速やかに情報を共有し、対応に結び付けている	毎日、記録し、申し送りを実施している。	○	午前中 血圧 脈拍 体温 を測定し、「しんどいところはない」声をしている。

自己評価項目	外部評価項目	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印(取り組んでいきたい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
74		<input checked="" type="checkbox"/> ②服薬支援 職員は、一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	お薬手帳や薬剤説明書を読むようにしている	○	理解困難・薬効・副作用等はケアマネが薬局に薬を受け取りに行くので医師・薬剤師の説明を受けスタッフに伝えている。
75		<input checked="" type="checkbox"/> ③便秘の予防と対応 職員は、便秘の原因や及ぼす影響を理解し、予防と対応のための飲食物の工夫や身体を動かす働きかけ等に取り組んでいる	食物繊維の多い食事・一日の水分量・お腹を暖かくする・朝一番トイレに座り腹圧を掛ける等	○	入所者個々の便秘対策をしている。
76		<input checked="" type="checkbox"/> ④口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や力に応じた支援をしている	口腔ケアを実施したり、援助・助言をしている	○	寝たきり状態の入所者、車椅子で食事介助後口腔ケアを行っている。
77	28	<input checked="" type="checkbox"/> ⑤栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	栄養バランスを考えた材料を外注(福祉食)している。食後・おやつ時間・入浴後等一日の水分摂取量の確保を考えた介護を行っている。	○	軟菜・キザミ・ミキサー・トロミ等 調理方法は個別に合っている。
78		<input type="checkbox"/> ⑥感染症予防 感染症に対する予防や対応の取り決めがあり、実行している(インフルエンザ、疥癬、肝炎、MRSA、ノロウイルス等)	施設感染マニュアルによりおこなっている。		小規模の為 施設感染事例は「症状を伴う検査の必要性」ない。
79		<input checked="" type="checkbox"/> ⑦食材の管理 食中毒の予防のために、生活の場としての台所、調理用具等の衛生管理を行い、新鮮で安全な食材の使用と管理に努めている	調理後30分以内で食べてもらっている。	○	調理用具の清潔には十分な配慮と指導をしている。
その人らしい暮らしの支援 (5)健康面の支援 7項目中 6項目					
IV-2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり					
IV-2. (1) 居心地のよい環境づくり					
80		<input checked="" type="checkbox"/> ①安心して出入りできる玄関まわりの工夫 利用者や家族、近隣の人等にとって親しみやすく、安心して出入りができるように、玄関や建物周囲の工夫をしている	玄関に物を置かないようにしている。	○	掃除は毎日実施している。四季折々の花を植えている
81	29	<input checked="" type="checkbox"/> ②居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	生花や行事時の写真を掲示している。	○	民家改造施設の特性を活かした環境で問題は少ないと感じます。

グループホーム介の羽

自己評価項目	外部評価項目	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印(取り組んでいきたい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
82		<input type="checkbox"/> ③共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中には、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	共同空間の面積は狭いが何時も同じ席で混乱の内容にしている。		玄関フロアのソファースを活用している。
83	30	<input checked="" type="checkbox"/> ④居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	使い慣れた古い家財を配置している。	○	衣類の管理は職員が行っている。
84		<input checked="" type="checkbox"/> ⑤換気・空調の配慮 気になるにおいや空気のおよみがないよう換気に努め、温度調節は、外気温と大きな差がないよう配慮し、利用者の状況に応じてこまめに行っている	毎日、窓を開け換気している。	○	部屋・部屋の空調で各自の好みの温度調整を行っている。
生活環境づくり (1)居心地のよい環境づくり 5項目中 4項目					
IV-2. (2) 本人の力の発揮と安全を支える環境づくり					
85		<input checked="" type="checkbox"/> ①身体機能を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの身体機能を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	1階2階日常機能生活動作にあった入所者の配置をしている。	○	一階はバリアフリー、二階は身体バランス保持・下肢筋力増強対象者を
86		<input type="checkbox"/> ②わかる力を活かした環境づくり 一人ひとりのわかる力を活かして、混乱や失敗を防ぎ、自立して暮らせるように工夫している	個々の性格・生活暦等を活かす施設の役割があり、生き甲斐を感じてもらおう生活を指しています		生活暦に違い、性格が合わない事で混乱することがある。
87		<input checked="" type="checkbox"/> ③建物の外周りや空間の活用 建物の外周りやベランダを利用者が楽しんだり、活動できるように活かしている	施設の前の道に四季折々の花を植えている	○	散歩や近所の人との交流の場として活用しています。
生活環境づくり (2)本人の力の発揮と安全を支える環境づくり 3項目中 2項目					

( 部分は外部評価との共通評価項目です)

V. サービスの成果に関する項目		取り組みの成果 (該当する箇所の番号の左横に○印をつけること)
項目		↓○印欄
88	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる	○ ①ほぼ全ての利用者の ②利用者の2/3くらい ③利用者の1/3くらい ④ほとんど掴んでいない
89	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある	○ ①毎日ある ②数日に1回程度ある ③たまにある ④ほとんどない
90	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている	○ ①ほぼ全ての利用者が ②利用者の2/3くらいが ③利用者の1/3くらいが ④ほとんどいない
91	利用者は、職員が支援することで生き生きした表情や姿がみられている	○ ①ほぼ全ての利用者が ②利用者の2/3くらいが ③利用者の1/3くらいが ④ほとんどいない
92	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている	○ ①ほぼ全ての利用者が ②利用者の2/3くらいが ③利用者の1/3くらいが ④ほとんどいない
93	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている	○ ①ほぼ全ての利用者が ②利用者の2/3くらいが ③利用者の1/3くらいが ④ほとんどいない
94	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている	○ ①ほぼ全ての利用者が ②利用者の2/3くらいが ③利用者の1/3くらいが ④ほとんどいない
95	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています	○ ①ほぼ全ての家族と ②家族の2/3くらいと ③家族の1/3くらいと ④ほとんどできていない
96	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている	○ ①ほぼ毎日のように ②数日に1回程度 ③たまに ④ほとんどない

グループホーム介の羽

項 目		取 り 組 み の 成 果 (該当する箇所の番号の左横に○印をつけること)
		↓○印欄
97	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが拡がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている	<input type="radio"/> ①大いに増えている <input type="radio"/> ②少しずつ増えている <input type="radio"/> ③あまり増えていない <input type="radio"/> ④全くいない
98	職員は、生き活きと働けている	<input type="radio"/> ①ほぼ全ての職員が <input type="radio"/> ②職員の2/3くらいが <input type="radio"/> ③職員の1/3くらいが <input type="radio"/> ④ほとんどいない
99	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	<input type="radio"/> ①ほぼ全ての利用者が <input type="radio"/> ②利用者の2/3くらいが <input type="radio"/> ③利用者の1/3くらいが <input type="radio"/> ④ほとんどいない
100	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	<input type="radio"/> ①ほぼ全ての家族等が <input type="radio"/> ②家族等の2/3くらいが <input type="radio"/> ③家族等の1/3くらいが <input type="radio"/> ④ほとんどできていない

【特に力を入れている点・アピールしたい点】

(この欄は、日々の実践の中で、事業所として力を入れて取り組んでいる点やアピールしたい点を記入してください。)

民家改造型施設で違和感が少なく、利用者は自分の家の様に暮らされています。定員数5名で家族的で。

評価結果整理表

個 別 表	□のチェック項目数
I 理念に基づく運営	
－1. <input checked="" type="checkbox"/> 理念と共有	2 項目/3項目
－2. <input checked="" type="checkbox"/> 地域との支え合い	1 項目/3項目
－3. <input checked="" type="checkbox"/> 理念を実践するための制度の理解と活用	1 項目/5項目
－4. <input checked="" type="checkbox"/> 理念を実践するための体制	2 項目/7項目
－5. <input checked="" type="checkbox"/> 人材の育成と支援	4 項目/4項目
II 安心と信頼に向けた関係づくりと支援	
－1. <input checked="" type="checkbox"/> 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応	4 項目/4項目
－2. <input checked="" type="checkbox"/> 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援	4 項目/6項目
III その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント	
－1. <input checked="" type="checkbox"/> 一人ひとりの把握	2 項目/3項目
－2. <input checked="" type="checkbox"/> 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し	3 項目/3項目
－3. <input type="checkbox"/> 多機能性を活かした柔軟な支援	0 項目/1項目
－4. <input checked="" type="checkbox"/> 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働	3 項目/10項目
IV その人らしい暮らしを続けるための日々の支援	
IV－1. その人らしい暮らしの支援	
－1. (1) <input checked="" type="checkbox"/> 一人ひとりの尊重	1 項目/3項目
－1. (2) <input checked="" type="checkbox"/> その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援	5 項目/6項目
－1. (3) <input checked="" type="checkbox"/> その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援	4 項目/6項目
－1. (4) <input checked="" type="checkbox"/> 安心と安全を支える支援	5 項目/8項目
－1. (5) <input checked="" type="checkbox"/> その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援	6 項目/7項目
IV－2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり	
－2. (1) <input checked="" type="checkbox"/> 居心地のよい環境づくり	4 項目/5項目
－2. (2) <input checked="" type="checkbox"/> 本人の力の発揮と安全を支える環境づくり	2 項目/3項目

総合評価

I 理念に基づく運営 (5項目/5項目)について

理念の基づいたケアをする事で施設の社会的役割が果たせると考えます。

II 安心と信頼に向けた関係づくりと支援 (2項目/2項目)について

個別性を考えたケアが安心と信頼関係を気付くことと思います。

III その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント (3項目/4項目)について

その人の個性を重んじたケアは正確な情報を共有し、共通の認識で、質のよいケアを提供する事と思っています。

IV その人らしい暮らしを続けるための日々の支援 (7項目/7項目)について

職業・生活歴を活かしたケアを提供することでその人らしい暮らしが送れると考えています。」

V サービスの成果に関する項目について

その人らしい。暮らしを日々送れることを目標として介護していきます。

☆サービスの質の向上に向けて、取り組む課題と優先順位、具体的な行動の計画

評価年月日:2008年 9月 22日

前回評価年月日: 年 月 日

サービスの質の向上に向け取り組む課題			取り組み期間 (○年○月～ ○年○月まで)	改善に向けた具体的 な行動	達成度評価	次期 評価 実施 時期
評価項目 番号	優先 順位	内 容				
4	2	職員の確保	平成19年10月～21年3月	ハローワークに於て募集、又知人を通じて人材確保に努めた	0%	
1	2	運営理念の啓発	平成19年10月～21年3月	毎月のカンファレンスの時に唱和する。	50%	
3	2	健康管理	平成20年12月～	在宅医療療養管理	90%	
5	142	サービスの成果	平成20年10月～	「より質の高いサービス」の提供 リスクを伴うことも生じる	70%	